

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 令和 3年 2月 21日

事業所名 sakura colette

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			十分な広さを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			人員配置基準を満たしています。	低年齢層や障害の特性を考慮し、サービスの質を向上すべくスキルアップを図り、必要に応じて更なる増員を検討していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関スロープあり。室内バリアフリー。トイレ2か所には手すりを設置し、車イスが入れるよう十分な広さを確保しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に担当者ミーティングを設けている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者様の意向等は職員間で情報を共有し、業務改善に努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページや通知文にて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		新型コロナウイルス感染防止のため、2020年度は来訪を制限させていただきました。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				能力向上、資格取得が目指せるように、必要な研修の機会を設けています。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			標準化されたツールの導入を検討します。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に応じた屋内外の活動や、年齢層および障害特性を考慮しながら参加しやすい工夫を凝らしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○			送迎等で直接打ち合わせが出来ない場合は、書面にて周知しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○			可能な限り時間内に実施できるよう努めているが、送迎で不在になることが多く、その日のうちに全員が集まりミーティングを行うことは難しい。気があれば書面等で残し、共有できるようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○					
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達管理責任者および精通した指導員が参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			毎月学校行事予定をいただき、下校時間等を把握しています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		対象児童なし。受け入れる際には、必要に応じて主治医等と連携を図っていきたい。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○		相談支援事業所や保護者から必要な情報は得ており、且つ、現在の関係機関との連携に努めています。必要に応じて就学前の関係機関と連携が図れるようにしていきます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○					会議の場で情報共有を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○			必要に応じて連携を図ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○			新型コロナウイルス感染防止のため、2020年度は外部との交流を控えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○					支援終了後、その日の様子はもちろんのこと、課題等があれば併せて報告しています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				保護者が抱える状況や課題について職員間で話し合っています。	保護者支援に向け、職員のスキル向上に努めます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約時に説明をしています。事業所内にも一部内容を掲示しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○					保護者支援に向け、職員のスキル向上に努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		家族参加型のイベントを通じて、保護者同士の交流が図れるようにしています。	保護者様より様々なご意見をいただいております。開催にあたっては慎重に検討しながら実施させていただきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				即日、対応するように努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				事前に年間の活用スケジュール、毎月の活動カレンダー等の行事内容を発送しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○				鍵付き書庫にて個人情報を管理しています。写真掲載は予め保護者の同意を得ています。	
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○			新型コロナウイルス感染防止のため、2020年度は外部との交流を控えています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○			いつでも内容が確認できるように改善します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○					
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○					
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○					
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○			必要に応じて医師の指示書をいただくよう努めます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			○			ヒヤリハット事例は朝礼またはメールにて全職員に情報共有している。事例集は作成を検討します。	